

科目名	周産期ハイリスクケア論 (High Risk Perinatal Care)			科目コード	S110
単位数	1単位	選択区分	必修	時間数	30時間
区分	助産学基礎領域	履修時期	通年	関連DP	助①②⑥
担当教員	井上 明子、今村 朋子、伊藤 美香、瀧本 千紗、枝川 千鶴子、松田 修*、越野 和美*				
授業概要	マタニティサイクル各期の身体的、心理社会的なハイリスク状態にある母子や家族の診断および援助について教授する。より実践的な知識・技術の習得を目指し、技術演習、事例展開、シミュレーション、臨床推論などの様々な学習方法により授業を展開する。				
授業目標	1. 分娩期の異常やハイリスク妊婦に対する標準的な助産計画を立案し、診断・技術演習で活用できる。 2. 周産期のハイリスク状態にある母子の病態生理に基づいた助産過程が展開できる。 3. ハイリスク状態にある対象者をマタニティサイクル各期の一連の流れの中で理解し、対象がその人らしく、より良い健康状態に向けて過ごすための援助について考えることができる。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	分娩期の正常逸脱	分娩時の正常逸脱時の処置、急速遂娩	伊藤・瀧本
2		分娩期の正常逸脱事例シミュレーション：前期破水	井上・瀧本
3	ハイリスク妊娠とリスク査定	ハイリスク妊娠と助産師の役割、施設連携と周産期医療システム、異常徴候の早期発見に向けたリスク査定	井上明子
4	心理社会的ハイリスク	心理社会的ハイリスク妊産婦と家族のケア 若年妊娠、未婚女性、虐待、産後うつ	井上明子
5～7	新生児蘇生法	出生時の呼吸・循環の解剖生理 新生児蘇生のアルゴリズム 蘇生の基本技術演習、シナリオ演習	松田修 越野和美
8	ハイリスク妊婦事例展開	【ハイリスク事例演習①】事例A:妊娠糖尿病	伊藤美香
9		【ハイリスク事例演習②】事例B:妊娠高血圧症候群	井上明子
10		【ハイリスク事例演習③】事例C:切迫早産	
11	産科麻酔と手術	帝王切開のケア、無痛分娩時のケア	瀧本千紗
12	ハイリスク事例の緊急対応	母児の緊急対応：想定外を想定内にする臨床推論	今村朋子
13		【実践演習】産科異常出血緊急場面シミュレーション	井上・瀧本 今村
14～15	ハイリスク新生児	ハイリスク新生児と家族のケア 【技術演習】ハイリスク新生児の日常ケアの実際	枝川千鶴子
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク事例演習課題 ①②③ 各 20% (60%)：井上・伊藤 (第8～10回) ・帝王切開スタンダードプランの作成 (10%)：瀧本 (第11回) ・新生児蘇生事前学習小テスト (10%)：今村 ・演習への取り組み (10%)：井上 ・ハイリスク妊産褥婦に関する小テスト (10%)：井上 		
教科書	1. 遠藤敏子「ハイリスク妊産褥婦・新生児のケア」(日本看護協会出版) 2. 田村正徳(監修)「日本版救急蘇生ガイドライン 2015に基づく新生児蘇生法テキスト」(MEDICALVIEW社) ※5-7回で使用 3. 横尾京子「助産学講座 8 助産診断・技術学 II [3]新生児期・乳幼児期」(医学書院) ※14-15回で使用		
参考図書等	授業の中で提示する。		
授業時間外の学習について	事前の計画立案や講義後の修正、技術演習などの時間外学習を必要とする。		
関連科目	103 周産期医学、104 新生児・乳幼児学、106-109 助産診断技術学 I～IV ⇒ 本科目 ⇒ 117-118 助産学実習 I-II		
備考	本科目の課題や記録等は、全て「助産学実習Ⅱ：ハイリスク実習」での活用が可能である。		